

## 競 技 注 意 事 項

### 1. 競技規則について

本大会は、2018年日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

### 2. 練習について

- (1) 練習会場使用日程及び留意事項に従い実施すること。
- (2) 投てき競技の練習については、係員の指示に従って安全に留意して行うこと。

### 3. 競技器具について

- (1) 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使用する。但し、棒高跳用ポール及び、競技場に備え付けのないやりについては、検査のうえ借り上げて競技会使用を認める。やりの借り上げは、競技開始1時間30分前までに、TIC（メインスタンド正面玄関内）に申し出ること。またポールの検査は競技開始前に競技場所にて行う。
- (2) フィールド競技及び4×100mRで使用するマーカーは、主催者が用意したものを使用する。マーカーは現地にて競技役員が配布する。

### 4. 招集について

- (1) 招集所は、200mスタート付近外側に設ける。
- (2) 招集開始時刻及び完了時刻（移動開始時刻）は、競技開始時刻を基準として、次のとおりとする。

区 分	種 目	ラウンド	招集開始	招集完了
トラック競技	100m、200m、400m、800m、1500m 5000m、10000m、100mH、110mH 400mH、3000mSC、5000mW 400mR、1600mR	予選・準決勝・決勝	30分前	15分前
	三段跳、走幅跳、走高跳 棒高跳	決 勝	60分前 100分前	50分前 90分前
投てき競技	砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投	決 勝	60分前	50分前
混成競技	十種競技	両日の第1種目	30分前	15分前
	七種競技	第1日目、第1種目	30分前	15分前
		第2日目、第1種目	45分前	30分前

- (3) 混成競技の招集は、2日間とも第1種目だけ招集所で行う。第2種目からは、混成競技者控所において、トラック競技は競技開始15分前までに、フィールド競技は競技開始30分前までに、招集を行う。

### 5. 招集の手順

- (1) 競技者は招集開始時刻前に招集所で待機し、競技者係より最終点呼を受ける（代理人による点呼は、原則として認めない）。その際、ナンバーカード、スパイク、衣類、持ち物等の点検も受ける。
- (2) 最終点呼終了後、係員の誘導で競技場内へ移動する。
- (3) 同時刻帯に2種目兼ねて出場する競技者は、「2種目同時出場届出用紙」を招集開始時刻までに招集所に提出し、指示に従う。
- (4) 棄権する場合は「棄権届出用紙」を招集開始時刻までに招集所に提出する。
- (5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。
- (6) ナンバーカードは交付された大きさのまま、胸・背に確実に付ける。但し、跳躍競技においてはどちらか一方でもよい。また、トラック種目では、腰ナンバーカードを右の腰後方に付ける。（配布は招集所で行う）
- (7) 競歩・長距離競技では招集所で配布する特別ナンバーカードを使用し、胸・背に確実に付ける。

### 6. 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入退場は、すべて競技役員の誘導による。
- (2) トラック競技出場者はフィニッシュライン到着後、選手入退場口より退場する。
- (3) トラック競技出場者の衣類は、係員が入退場口付近のテントに搬送する。  
（4×100mRにおいては最終走者以外の衣類は搬送しない）
- (4) フィールド競技者は、競技役員の指示によって退場する。
- (5) 1位から3位までの入賞者は、競技役員の誘導によって表彰控室に入る。

7. 競技について

- (1) 当該競技の出場者以外は、競技場内に立ち入ることはできない。
- (2) 競技場内におけるフィールド競技の練習は、すべて審判員の指示に従って行う。
- (3) ビデオ装置、音楽プレーヤー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用してはならない。
- (4) トラック競技予選の組・走路順は主催者が抽選し、プログラムに記載する。
- (5) トラック競技の準決勝・決勝の組合せ走路順は、主催者が抽選し、決定次第招集に掲示する。
- (6) トラック競技で次のラウンドに進む出場者の決定に関し、その最下位で同タイム者がでたときは、以下の方法で決定する。同タイム者（チーム）については、0.001秒まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合、レーンに余裕がある限り次のラウンドに進出できる。レーン数が不足するときは、本人または代理者により抽選を行う。但し、1500m・3000mSCについては、次のラウンドに進出できる。
- (7) 競技運営上、以下の種目に制限時間を設ける。（以下の時間を越えて次の周回には入れない）
 

男子	10000m	35分	女子	10000m	43分
男子	5000mW	27分	女子	5000mW	32分
- (8) リレーに出場するチームは、オーダー用紙1部を、ラウンドごとに1組の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出する。
- (9) イエローカード（以後、YCと称す）に関して、当大会では国内ルールを適用し、以下のように運用する。
  - (ア) 第162条5の規定により、(a) (b) (c) いずれかの行為を行ったとき、YCを提示し警告を与える。この場合他種目との合算はなく、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
  - (イ) 同一種目で2回のYCを受けた競技者は、当該種目を失格とする。但し、それ以後の他の種目の出場は可能である。このようにYCの累積は、当該種目のみに適用する。
    - (例1) 100m予選で1回目のYC。100m準決勝で2回目のYCが提示された。⇒100m失格。その後、200m予選で1回目のYCが提示された。⇒200m準決勝出場可能。
    - (例2) 100m予選で1回目のYC。走幅跳でも1回目のYCが提示された。⇒100m準決勝、走幅跳ともに出場可。その後、100m準決勝でYC（累積3回目）が提示された。⇒100mは失格になるも、走幅跳は出場可能となる。
- (10) 男女の走幅跳・男子三段跳は、A・Bの2ピットで行う。三段跳の踏切板の位置は、男子13m・女子10mとする。
- (11) バーの上げ方
  - (ア) 走高跳・棒高跳決勝のバーの上げ方は、次のとおりとする。（但し、気象状況等によっては審判長によりバーの上げ方を変更する場合もある。）

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8
走高跳	男子	1m85 2m00	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	2m11	以降3cm	
	女子	1m45 1m60	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	1m71	以降3cm	
棒高跳	男子	4m50 5m00	4m60	4m80	4m90	5m00	5m10	5m20	5m30	5m35
	女子	3m00 3m80	3m20	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00
									以降5cm	

(イ) 1位が同成績の場合、順位決定試技のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。

(ウ) 混成競技の走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	8
走高跳	男子	1m50 1m80	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以降3cm	
	女子	1m25 1m50	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53		
棒高跳	男子	3m00	3m20	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00
		以降5cm								

8. 抗議について（競技規則第146条参照）

- (1) 競技中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、競技規則第146条により、結果の正式発表後30分以内とする。また次のラウンドが行われる種目では、結果の正式発表後15分以内に、本人または監督から審判長に対して口頭で申し出る。（受付はTICで行う）
- (2) 審判長の裁定に不服の場合は、ジュリーに預託金10,000円を添えて文書で上告する。この預託金は、抗議が却下された場合は返却しない。「抗議申立書」は、大会本部で準備する。

9. 表彰について

- (1) 各種目1位～3位の入賞者は（含むリレー）競技終了後、直ちに表彰を行うので競技役員の誘導のもと、正面スタンド下、表彰控所に移動し待機すること。
- (2) 各種目1位～3位までには賞状とメダルを、4位～8位の入賞者には賞状を授与する。
- (3) 4位～8位の入賞者は、正式発表30分後を目安にTICに賞状を取りに来ること。

10. 一般連絡・注意事項

- (1) 当大会はTIC（総合案内所）を置き、各種届け出用紙の配布・競技会に対する質問や抗議ほか、大会運営のすべての窓口とする。（下表参照）
- (2) 当大会では14種類のIDカードを発行します。監督・コーチ並びに選手用IDカードでは、メイン競技場スタンド下への立ち入りはできません。
- (3) 横断幕やのぼり旗等の掲揚場所は、バックスタンド及びサイドスタンド上段の手すりの部分のみとする。
- (4) テント設置に関しては、立ち入り禁止区域や観客席通路口を除く、園内全ての場所を許可する。但し、樹木を傷つけることは厳禁とする。
- (5) 競技会で発生した事故等については、主催者で応急処置はするが、以後の責任は負わないものとする。
- (6) 大会期間中の貴重品の管理は各自が責任を持って行うこと。遺失物は、TICにて保管する。
- (7) すべての競技記録は正面玄関付近の掲示板に掲示する。
- (8) 「記録証明書」希望する競技者は、TICで申込用紙に必要事項を記入のうえ、500円を添えて申し込むこと。
- (9) 棒高跳ボールの返送は、競技者各自で行うこと。
- (10) ゴミの処理については、各自持ち帰りとする。
- (11) 個人情報の取り扱いについて、個人情報保護に関する法令を遵守し、個人情報保護方針に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラムの編成及び作成、記録発表その他競技会運営及び陸上競技に必要な連絡等に使用する。
- (12) TIC（総合案内所－メインスタンド正面玄関内）の業務及び提出書類は次のとおりとする。

	配布書類及び業務	提出及び受付場所	提出及び受付時間
1	棄権届出用紙	招集所	招集開始時刻まで
2	2種目同時出場届出用紙	招集所	第1種目の開始時刻まで
3	リレーオーダー用紙	招集所	招集完了1時間前まで
4	棒高跳支柱移動届	招集所	招集開始時刻
5	プログラム訂正届出用紙	TIC	随時
6	用器具検査申請書	TIC	競技開始1時間30分前まで
7	記録証明書交付	TIC	随時
8	棒高跳ボール返送	TIC	競技者各自で行う
9	遺失物保管	TIC	随時
10	4位～8位の賞状配布	TIC	記録発表30分後から
11	抗議申立（口頭）	TIC	正式記録発表後
	上訴申立書（文書）	大会本部	15分前（予選・準決勝） 30分前（決勝）